

改訂の序

初版を2005年10月に上梓以降，幸いにして本書は好評を得ることができた．初版の序文にも記したように本書はもともと初期臨床研修医のレベルを念頭に置いて頭部の画像診断のポイントをまとめたものである．その後5年あまりが経過し，初版には含めなかったが日常診療で遭遇する可能性の高い疾患の追加を中心として改訂を行った．新たに加えた疾患のなかには初版をコンパクトなものにするために止むなく含めなかったもののほか，最近になって臨床各科での認知度が上がっていることに対応して，画像診断上もぜひ把握しておくべきと思われるいくつかの疾患が含まれている．

一方で，本書の特徴である，鑑別診断に重きを置いてそれらの症例画像も含めるスタイルや，右ページに臨床あるいは病理に関する事項を記すパターンは保持した．初期研修医や放射線科の専門研修早期の方々の多忙な日常の中でも参照して頂きやすいことを念頭に置いた箇条書き中心の記述もそのままとした．その上で初版からの項目でも新たな知見を加えたり，症例の画像をより適切なものにしたり，参考文献をupdateするなどの点で充実を図った．

ご執筆頂いた先生方には貴重な時間を割いて編者の意を汲んだ内容やスタイルで著述して頂き，編者の目指した内容の向上が実現できたものと自負している．読者の方々には初版に引き続き本書を日常臨床の現場で頭部の画像診断の良き参考書として役立てて頂ければ編者の大きな喜びである．なお羊土社からは本書の上級編とも言うべき『決定版 頭部画像診断パーフェクト』も近日刊行予定であり，本書と併せて活用頂ければと考えている．

最後に企画・編集に携わって頂いた羊土社の嶋田達哉氏および鈴木美奈子氏にこの場をお借りして深く感謝申し上げます．

2011年1月

土屋一洋
大久保敏之